



スキマタイムズ

もっとお互いを理解するための場や時間を

✿ 日本自立生活センター自立支援事業所 2022年6月27日発行 第135号

※ 居場所づくり勉強会 第70弾 ※

東京電力が起こした 原発事故は終わっていません！

日時：2022年7月19日(火)

14:00～16:00

場所：事業所1階

2011年3月11日14:46に東日本大震災は起きました。

大きな揺れと津波で多くの人が傷つき亡くなりました。そして起きてはいけなかった原発事故が起きてしまいました。本当は防ぐことができたのです。それならどうして起きてしまったのでしょうか？天災ではなく人災だからなのです。



「原子力」とは「核の力」ということです。直ぐに人の体に影響を与える核事故のせいで間違いなく救える命があったのに、見捨ててしまう状況になってしまいました。

核と人間は共存できません！それなのにどうしてエネルギーを原子力発電に頼っているのでしょうか。

日本は世界で唯一の戦争被爆国。二度も原爆を落とされて苦しみにあったのに、100年も経たないうちにまた多くの被ばく者をつくってしまいました。

それはどうしてなの？ ニュースで知る事は本当なの？ 今、福島はどんなことになってるの？ 東電の原発はどうなってるの？ 事故処理の為に出した汚染水やガレキはどうなっているの？ 直ちに影響は出ないって言ってたけど本当？ 11年経ったけど影響って出ているの？ 京都にも沢山の避難して来た人がいるんだよ。

などなど、皆さんと一緒に話しする時間をもちたいと思います。むずかしい問題だけど、むずかしい話しではなく、お茶でも飲みながらお話しを聞いていただき、そして一緒におしゃべりしましょう。

スピーカー：菅野 千景

福島で生まれ育つ。2011年の夏にふたりの娘を連れて京都へ避難。1年後、夫も京都へ避難し家族が揃う。原発賠償京都訴訟原告。現在 JCIL 介助者。

ZOOM

ミーティング ID: 835 7675 0898

パスコード: 356298



日本自立生活センター自立支援事業所 編集担当：岡山・春木

TEL：075-682-7950 E-mail：jcil-kyoto@jcil.jp URL <http://www.jcil.jp/zigyosho/index.html>



報告・感想

JCIL・ピープルファースト京都合同勉強会 大事なこと、ゆっくり考えよう 『優性保護法』と『強制不妊手術』 に参加して

ピープルファースト京都 辻本美貴

2022年5月19日にJCILとピープル京都の合同勉強会に参加しました。

「優生保護法」は1948年から1996年の間にあった法律で、「不良」な子孫の出生を阻止することや母体保護などを目的として、障害のある方に強制的に不妊手術を認める法律でした。

今回の勉強会では、小泉さんは「優生保護法とは」「子どもはどのようにして生まれるのか」「手術ではどのようなことがされるのか」「人を愛すること」などわかりやすく説明してくださいました。続いての香田さんの話では、高校生の頃、もしかしたら自分も手術を受けさせられたかもという自分の実体験をお話してくださいました。

続いて、京都新聞記者の森敏之さんは、優生保護法についてと、現在、滋賀県で行っている裁判（手術の根拠となった医師の診断書等の情報開示を求める）の状況などをわかりやすく説明をしてくださいました。

ピープルメンバーとは、今までも自分たちで何度も優生保護法についてのビデオを見たりしましたが、感想が出にくく、「やっぱり難しい」という反応だったのですが、今回の勉強会では、講師陣がとても分かりやすく説明をしてくださり、参加メンバーも楽しそうに参加していたのが印象的でした。勉強会の表題にもあるように「大事なこと、ゆっくり考えよう」と何度も何度も繰り返して、少しずつ理解を深めていくことが大事だなと思いました。

今回の勉強会のあとも、メンバー数名から「自分やったら嫌やわ」「男女の話をきくのが嫌や」などの意見がありましたが、きっと奥には複雑なものがあるのではと思います。「障害者は不良」なんて聞きたくない、昔の話なのでかけ離れているように思う、結婚出産のことは自分には関係ない、少し心がざわっとしてしまうことなどあると思います。

優生保護法には「母体を守る」目的もあったようですが、知的障害を持つ方の恋愛や性教育については、支援学校でもされているかもしれないですが、実っていないと感ずることがあります。



恋愛に無縁な人もいれば、反対に男女関係が派手になってしまって、男の子は避妊するという知識を身につけられず、結局女の子も妊娠中絶を何度も経験してしまい、最終的に体の中に避妊器具をつけるしかないという道をたどる子も何人かいました。以前、産婦人科の方とお話したときに「知的障害の方の妊娠中絶は本当に多い。知的障害の方の性教育をやっていきたいので、学校やそういう場があれば行きたい」とおっしゃっていました。

ピープルファーストのメンバーでも、「子供ができたりするのが怖いから恋愛はしたくない」と恋愛を避けている人もいますし、同じ知的障害のカップル同士でも「自分達は結婚するけど、子どもは持たない」と決めているカップルもいます。

人を好きになること、自分と相手の体を大事にすること、子どもを持つ、持たない選択をすること、また持つとなれば自分達にはどのような支援が必要か考えられることなど、考えていくのに伝えていかないといけないことはたくさんあると思います。

関係者も伝え方などに迷うことはあると思いますが、「障害のせい」ではなくて、伝えていないほうに問題があると、何度も丁寧に、本気で取り組んでいただけたらなと思います。

優性保護法は、ドイツとスウェーデンでも同様な法律が存在していましたが、両国とも謝罪と補償を行っているのに対し、日本では「26年以上前のこと」と損害賠償の要求を棄却し、言い逃れをされていて恥ずかしいことだと思いました。

このような責任逃れは、優生保護法以外の問題にたいしても、きっと同じ言い逃れを許してしまうことになるのではと思います。国は皆の信頼を失うことになると思うし、被害者の方はもちろん、私たちすべての人のためにも、責任をとり、真摯な姿勢を見せてほしいと思いました。



職員紹介 39

職員自己紹介

- ①なまえ ② JCIL との関わりはいつから？
③ きっかけは？ ④ どんな仕事をしていますか？
⑤ 大切にしていること・これからしたいこと

- ① 大石 梨菜（おおishi りな）
② 存在を知ったのは1年半前くらいです。今年の4月から働き始めました。
③ 知人の紹介でJCILのことを知りました。
その後、いろんな所で徐々に活動内容を見聞きしたのですが、昨年11月の居場所づくり勉強会に参加したことで、「ここで働きたい」と思いました。
④ 介助のお仕事や木プロのスタッフをしています。
⑤ 大切にしていること：楽しく生きる!!
これからしたいこと：誰もが安心して暮らせることが当たり前になるよう、コツコツ自分にできることをする。





植田カフェ

7/27(水) 14:00-17:00

今日は 本体 で Open します～

ホットコーヒー アイスコーヒー
アイスカフェオレ
アイスチャイ
ノンカフェインもあります

気軽に
音楽もたのしもう～



コーヒー好きな私がセレクト
した、美味しいオーガニック
コーヒーを提供いたします。
午後の一服のお供に、
ぜひ美味しいコーヒー
を飲みに来てください。
マイカップのご持参
大歓迎です!



プロジェクト代表
植田健夫
(コーヒー好きの筋ジス当事者)

知的障害のある人の 自立生活について考える

じぶんらしい
暮らしを

暮らした
地域で

知的障害のある人の自立生活について考える会

JCIL の仲間

中村佳代さんの暮らしも紹介されています
Web 上でも見ることができます。



https://drive.google.com/file/d/1PBjfFPIWj385dMKsZ_Buh6Ds9Pp



「～知的障害のある人に限らず、地域で暮らす障害のある人たちの生活はまだまだ必ずしも楽なものではありません。むしろ最近さらに大変になってきているのかもしれないということもあります。支給決定時間の制約、支援者不足、地域住民の無理解…そうしたものを跳ねのけていくためには、今、地域で暮らしている人たちの豊かな生活を知り、伝え、それを実現していこうとする人たちを増やしていくことしかないと思っています。」冊子同封のお手紙より抜粋

楽しい生活応援団 まとめ役
知的障害のある人の自立生活を考える会 世話人
東京家政大学教授 田中恵美子